

猫を飼っている方へ ～野良猫を増やさないために～



あなたの飼い猫が、屋外へ自由に出入りしていると、近所の家の庭を糞で汚したり、あなたの気づかない所で子猫が生まれる元になっている可能性があります。このような「迷惑猫」にならないために、次のことを心掛けてください。

1 室内で飼う

近所に迷惑をかけるのを防ぐばかりでなく、交通事故や猫同士の喧嘩による感染症も避けられます。外の様子が見える部屋で、高さがある落ち着ける場所を作ってやること等によって室内で生活できるようになります。

2 避妊又は不妊去勢手術

1頭のメス猫は、年間に2～3回発情し、1年間に20頭以上の子猫を産むこともあります。よその家や公園等で産まれた子猫は、近所迷惑や生活環境問題の原因になります。また、オス猫を外出自由にする、よその飼い猫や野良猫を妊娠させ、多くの子猫が生まれる元にもなります。メス猫もオス猫も手術をしましょう。

3 迷子札を着ける

首輪に身元の分かる表示を着けたり、飼い主の情報を電子化したマイクロチップを装着しておきましょう。迷子になったときや交通事故、災害時の飼い主確認に役立ちます。

4 最後まで責任を持つ(終生飼養する)

飼い猫の寿命は、15年～20年です。飼い始めたら生涯愛情を持って飼うことが飼い主の責任です。途中で放棄することなく家族の一員として、最後まで飼いましょう。

動物を捨てる・傷つける
ことは**犯罪**です!!



動物愛護週間 9月20日～26日



一般社団法人 Shizuoka Animal Care Society

静岡県動物保護協会

問い合わせ先

〒420-0838 静岡市葵区相生町14番26-3号
TEL 054 (251) 6036

最近 協会には県民の皆さんから
次のような苦情や相談が
寄せられています。

軒下で子猫が
産まれてしまった。

近所で野良猫が増えて
困っている!

エサの置きっぱなしや
ばらまきは
不衛生だ。

フン尿による
悪臭に困っている!

さかりの声が
うるさい。

いのちにやさしい街づくり

地域ねこ活動



ご存知ですか?
飼い主のいない
猫対策



一般社団法人 静岡県動物保護協会

飼い主のいない猫(野良猫)に関わる問題を地域で解決しましょう

なぜいるの？ 飼い主のいない猫(野良猫)

- 飼い主に捨てられてしまった……。
- 不妊去勢手術をしていない為にどこかで子猫を生んでしまった。
- 飼い猫が迷子になった。



排除、捕獲は出来ないの？

- 野良猫は生まれ育った生活の場を変えません。
- 猫の増える原因を解決せずに猫だけ排除しても問題の解決にはなりません。
- 愛護動物である猫は **捕獲・処分はできません。**

猫を捨てることは犯罪です。
(動物愛護法)



そこで… 「地域ねこ対策」をみんなで考えましょう

どうすれば良いの？

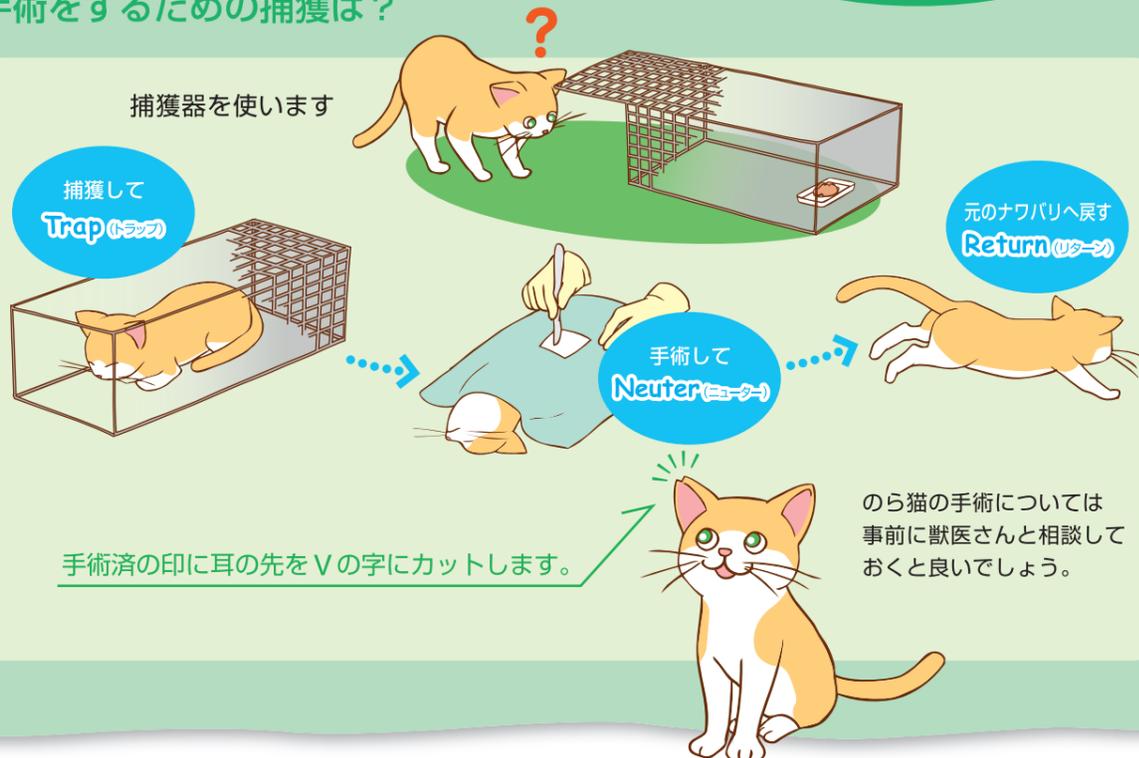
野良猫問題を解決するには、**地域住民が主体となり**行政とボランティアが一体となって取り組むことが重要です。まず地域の方が立ちあがってください。行政もボランティアもサポートします。

具体的には？

- 猫の不妊去勢手術を進め、繁殖を制限する。
- 適切なエサやりと食べ残しの始末をきちんとする。
- フン尿の掃除をし、えさ場周辺の美化に努める。

野良猫の寿命は約4~5年、その間地域で適切に管理することで自然と猫の数は減っていきます。

手術をするための捕獲は？



飼い主のいない猫のお世話をする方へ

地域の人に理解を得る努力を

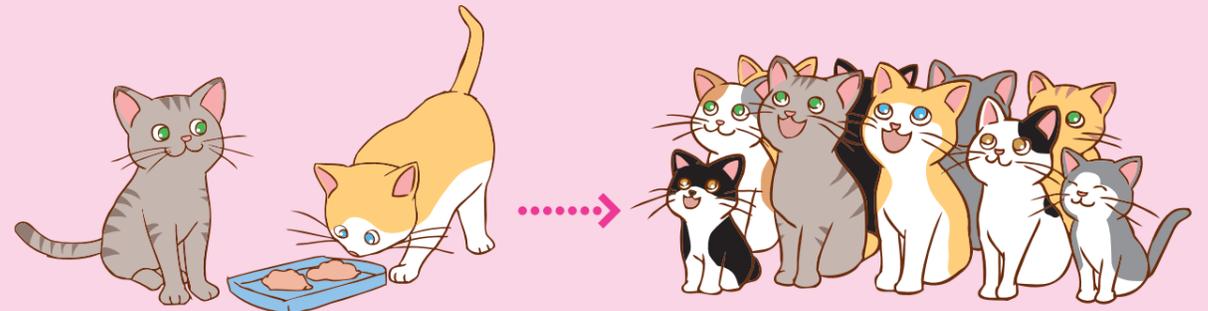
日頃からのご近所づきあいを心がけてください。又、地域で協力者を探して、グループで行動し孤立しないように努めましょう。

地域の皆さんへ!! 私達の手術費用もおねがいします



不妊去勢手術を

ご近所の方の理解と協力を得ながら、手術を進め、猫の数を増やさないようにしましょう。



「かわいそうだから…」とエサだけ与えていると

1年で2匹が10匹以上に!

えさの置きっぱなしはせず、えさ場のお掃除を

えさ場はご近所と相談して、場所、時間を決め、残ったえさの回収、清掃も心がけましょう。

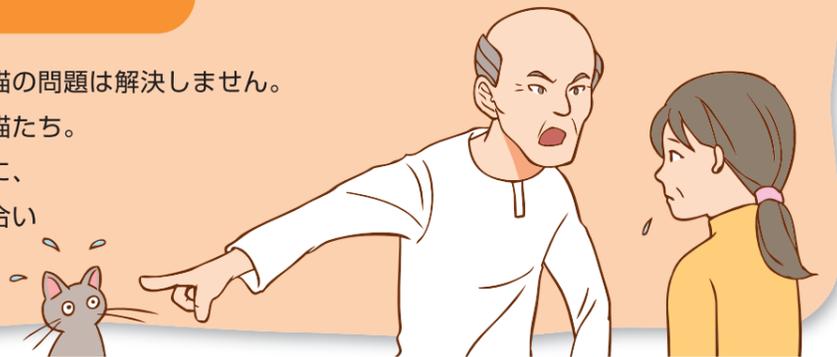
フン尿の掃除を

フンのパトロールをし、環境美化に努めましょう。猫のトイレの設置も効果的です。



猫が苦手な方へ

残念ながら排除や非難だけでは猫の問題は解決しません。元はといえば人間に捨てられた猫たち。猫も命あるものという考えの下に、猫の世話をしている人達と話し合い問題解決を心がけてください。



猫のいない地域はありませんし命あるものは排除できません。

人にもルールがあるように、人と猫の関わりもルールを作って、好きな人、嫌いな人にとっても住みやすい街にしましょう。